

# 令和4年度 郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事 及び関係者合同会議

と き 令和4年9月22日(木) 15:00～16:00

ところ 山口県医師会6階 会議室(ハイブリッド開催)

[報告:常任理事 上野 雄史]

本会議は、郡市医師会特定健診・特定保健指導担当理事、山口県医師会、山口県健康福祉部、社会保険診療報酬支払基金山口支部、全国健康保険協会山口支部、山口県国民健康保険団体連合会、山口県後期高齢者医療広域連合、当該年度の代表保険者(※本年度は健康保険組合連合会山口連合会)、市町行政の特定健診担当者が一堂に会し、情報交換及び意見交換を行うことを目的に年1回開催している。毎年、対面で開催していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の感染蔓延状況に鑑み、Web及び対面のハイブリッド形式で開催した。

## 会長挨拶

**加藤会長** 山口県の市町村国保での特定健診の受診率は、平成30年度までは全国最下位だったが、皆様のご尽力により、令和元年度は全国44位、令和2年度は全国38位になった。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による特定健診等の受診控えが続いていること等により、受診率自体は令和元年度よりも下がっていることから、本日まで出席の皆様方と連携して受診率の向上に取り組んでまいりたいと考えている。

## 協議事項

- (1) 令和3年度の実施結果について
- (2) 令和4年度の実施状況について

事前配付資料にて令和4年度の実施主体と山口県医師会との集合契約の内容、特定健診等の保険者別の早見表、単価等を示した。

上記(1)、(2)に関しては各実施主体担当者より個別にご説明いただいた。

**山口県国民健康保険団体連合会** 本件の市町村国保での特定健診の受診率の状況は、先ほどの加藤会長のご挨拶の中でご報告いただいたとおりである。令和2年度の対前年度比の数字は全国のほとんどでマイナスとなっているが、その中において山口県は下げ率が一番小さかった(資料)。令和3年度8月末までの数字では、県内市町村の実施率は31.6%である(法定報告では31.9%となる予想で前年度より2%増となると思われる)。特定保健指導の実施率は年々下がっている。

**社会保険診療報酬支払基金山口支部** 令和3年度の特定健診・特定保健指導は3,650医療機関から17,976件の請求があった。令和2年度と比較して機関数は4.2%増加、請求件数は7.4%増加している。令和4年度は7月までに637医療機関から1,728件の請求となっており、前年度に比べて両者とも減少している。これは新型コロナウイルス感染拡大の影響と思われる。

**全国健康保険協会山口支部** 協会けんぽでは、被保険者に対しては生活習慣病予防健診として特定健診の項目にがん検診を追加したもの、被扶養者に対しては特定健診を実施している。被保険者の中で事業者健診として、事業所で労働安全衛生法に基づき実施された定期健診の結果を特定健診の結果として取り込んでいる。被保険者に関しては、生活習慣病予防健診と事業者健診の対象者数は182,831人に対し、実施者数は123,058人、実施率は67.3%で前年度と同様の結果であった。被扶養者に関しては、特定健診の対象者数は51,449人に対し、実施者数は12,413人、実施率は24.1%で前年度から0.8%微増であった。特定保健指導は、被保険者で実施率18.0%と前年

度から1.1%微増、被扶養者で実施率8.3%と前年度から2.9%減であった。

令和4年度の取組みとして、被保険者に対しては生活習慣病予防健診実施機関の拡大、受診率の低い地域での集団健診の実施(昨年度70会場、本年度92会場予定)、被扶養者に対しては全19市町と協働し市町がん検診との同時実施を推進する。新たな取組みとして、特定健診実施医療機関に対し、受診案内及び勧奨を目的として健診案内のポスター掲示を依頼している。

**山口県後期高齢者医療広域連合** 新型コロナウイルス感染症の関係で令和2年度は受診券の発送が6月になったが、令和3年度及び令和4年度は4月に発送している。令和3年度の受診者数は32,779人で、実施率は31.68%と前年度から3.7%減少している。受診率向上のための取組として受診勧奨ポスターを作成し、実施医療機関へ送付している。また、令和元年度以前に受診歴がある方で、令和2年度に受診歴がない方、令和2年度中に後期高齢者となられた方で受診歴のない約1万人に対してハガキでの受診勧奨を行った。

出席者

郡市医師会担当理事

大島郡 野村 寿和 (Web)  
 玖珂 立石 肇 (Web)  
 熊毛郡 曾田 貴子 (Web)  
 吉南 弘中 克己 (Web)  
 美祢郡 吉崎 美樹  
 下関市 橋本 亮 (Web)  
 宇部市 内田 悦慈 (Web)  
 山口市 吉兼 隆大  
 萩市 兼田健一郎 (Web)

徳山 椎木 俊明  
 防府 岡澤 正 (Web)  
 下松 小林 究 (Web)  
 岩国市 野坂 誠士  
 山陽小野田 西村 純一 (Web)  
 光市 井上 祐介  
 柳井 松原 良尚 (Web)  
 長門市 斎木 淳 (Web)

県医師会

会長 加藤 智栄  
 副会長 中村 洋  
 常任理事 上野 雄史  
 理事 竹中 博昭

県健康福祉部

医療保険課 主査 細井 寛和

山口県国民健康保険団体連合会

保険者支援課 課長 重富 知巳 (Web)  
 保険者支援課 健康増進班 主任 深津 康幸 (Web)

社会保険診療報酬支払基金山口支部

管理課 副長 永井 慎一  
 管理課 係員 原田 洋行

山口県後期高齢者医療広域連合

業務課 保健事業推進係 係長 安部 真紀 (Web)  
 業務課 保健事業推進係 主任主事 大嶋 健介 (Web)

全国健康保険協会山口支部

保健グループグループ長 加藤 泰大

健康保険組合連合会山口連合会

事務局長 栗元 教行 (Web)

市町担当者

下関市保険年金課 主査	福本 晃久 (Web)	柳井市市民生活課 主査	松本 航 (Web)
宇部市保険年金課 課長	玉泉 信寛 (Web)	美祢市市民課 主査	山村 和子
山口市保険年金課 副主幹	三好 貴子 (Web)	周南市保険年金課 医療費適正化担当主査	廣末 有 (Web)
萩市市民課保険年金係 主任	後藤 泰裕 (Web)	山陽小野田市国保年金課 主任主事	垣村 里絵 (Web)
防府市保険年金課 主事	濱元 智成 (Web)	周防大島長健康増進課 主事	河村 亮 (Web)
下松市保険年金課 主査	古谷 寛将 (Web)	上関町住民課 主任主事	中島 和哉 (Web)
岩国市健康推進課 健診班長	貴船 信子 (Web)	田布施町健康保険課 担当係長	田代 明子 (Web)
光市市民課 主任	藤井 友子	平生町健康保険課 主事	高村 真弥 (Web)
長門市総合窓口課 事務職員	橋本 結 (Web)	阿武町健康福祉課 主事	高橋 梨乃 (Web)

令和4年度の状況は、昨年同時期と比較して受診率は約3ポイント増加の9.45%である。シルバー人材センターの会員に対し資料配付、健診実施医療機関に対して結果説明用資料を送付している。

健康保険組合連合会山口連合会 対象者は約2万人おり、令和3年度の特健診の受診率は83.8%、特定保健指導の実施率は62.5%となっている。特定健診の受診率はここ数年8割を超えており、徐々に増加している。県内7つの健

(市町村国保) 都道府県別特定健康診査実施状況(平成28年度～令和2年度)

	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			02年-28年		
	実施率	順位	対前年	実施率	順位	対前年	実施率	順位	対前年	実施率	順位	対前年	実施率	順位	対前年	伸び	順位	
北海道	27.6%	44	0.5	28.1%	45	0.5	29.5%	44	1.4	28.9%	46	-0.6	27.0%	44	-1.9	-0.6	12	北海道
青森	36.3%	28	0.8	37.1%	26	0.8	38.0%	27	0.9	38.0%	28	0.0	33.8%	26	-4.2	-2.5	24	青森
岩手	43.2%	7	-0.3	44.4%	7	1.2	45.4%	6	1.0	47.9%	3	2.5	42.5%	3	-5.4	-0.7	14	岩手
宮城	47.3%	1	0.7	47.7%	1	0.4	48.3%	2	0.6	48.9%	2	0.6	42.0%	5	-6.9	-5.3	39	宮城
秋田	36.5%	26	0.1	37.0%	27	0.5	37.3%	30	0.3	37.4%	31	0.1	30.7%	37	-6.7	-5.8	42	秋田
山形	46.5%	2	0.5	47.0%	2	0.5	48.7%	1	1.7	49.7%	1	1.0	47.2%	1	-2.5	0.7	6	山形
福島	41.0%	15	1.0	41.9%	13	0.9	42.8%	14	0.9	43.3%	14	0.5	37.6%	16	-5.7	-3.4	29	福島
茨城	36.4%	27	1.2	36.9%	28	0.5	38.0%	27	1.1	38.6%	25	0.6	26.3%	46	-12.3	-10.1	47	茨城
栃木	34.5%	32	0.8	35.4%	32	0.9	36.6%	32	1.2	37.0%	32	0.4	30.8%	36	-6.2	-3.7	30	栃木
群馬	41.3%	14	0.2	41.4%	15	0.1	41.6%	17	0.2	42.6%	16	1.0	35.2%	22	-7.4	-6.1	44	群馬
埼玉	38.9%	21	0.3	39.6%	20	0.7	40.3%	20	0.7	40.7%	19	0.4	34.9%	24	-5.8	-4.0	34	埼玉
千葉	39.2%	19	0.5	40.1%	18	0.9	40.7%	18	0.6	40.9%	18	0.2	33.0%	28	-7.9	-6.2	45	千葉
東京	44.7%	5	-0.2	44.9%	5	0.2	44.7%	8	-0.2	44.2%	11	-0.5	40.8%	9	-3.4	-3.9	33	東京
神奈川	27.0%	45	-0.2	27.4%	46	0.4	28.4%	46	1.0	28.8%	47	0.4	25.7%	47	-3.1	-1.3	18	神奈川
新潟	43.2%	7	0.4	43.8%	10	0.6	44.2%	10	0.4	45.0%	8	0.8	37.9%	14	-7.1	-5.3	39	新潟
富山	43.0%	9	0.1	43.9%	9	0.9	44.7%	8	0.8	44.7%	9	0.0	41.7%	6	-3.0	-1.3	18	富山
石川	45.1%	4	0.3	45.6%	4	0.5	46.1%	4	0.5	47.0%	4	0.9	40.2%	10	-6.8	-4.9	36	石川
福井	32.4%	37	0.0	32.9%	38	0.5	34.6%	37	1.7	35.0%	35	0.4	26.9%	45	-8.1	-5.5	41	福井
山梨	43.9%	6	1.3	44.8%	6	0.9	45.9%	5	1.1	46.4%	7	0.5	39.0%	12	-7.4	-4.9	36	山梨
長野	45.8%	3	0.6	46.5%	3	0.7	46.9%	3	0.4	46.8%	5	-0.1	41.5%	7	-5.3	-4.3	35	長野
岐阜	37.3%	25	0.7	37.9%	25	0.6	39.6%	22	1.7	40.5%	20	0.9	37.9%	14	-2.6	0.6	7	岐阜
静岡	37.6%	24	0.0	38.0%	24	0.4	38.4%	25	0.4	38.4%	27	0.0	34.8%	25	-3.6	-2.8	27	静岡
愛知	39.2%	19	0.3	39.7%	19	0.5	39.7%	21	0.0	39.5%	22	-0.2	35.9%	18	-3.6	-3.3	28	愛知
三重	42.1%	12	0.3	42.5%	11	0.4	43.2%	12	0.7	44.0%	12	0.8	42.1%	4	-1.9	0.0	9	三重
滋賀	38.0%	23	-0.2	38.8%	23	0.8	40.7%	18	1.9	41.8%	17	1.1	35.5%	20	-6.3	-2.5	26	滋賀
京都	32.5%	36	0.5	33.6%	35	1.1	34.0%	38	0.4	34.7%	36	0.7	28.8%	39	-5.9	-3.7	31	京都
大阪	30.0%	42	0.1	30.3%	42	0.3	30.8%	42	0.5	30.1%	45	-0.7	27.5%	42	-2.6	-2.5	24	大阪
兵庫	34.8%	30	0.2	35.4%	32	0.6	35.1%	35	-0.3	34.1%	39	-1.0	30.9%	34	-3.2	-3.9	32	兵庫
奈良	31.2%	40	0.4	31.6%	40	0.4	32.1%	41	0.5	33.6%	40	1.5	30.9%	34	-2.7	-0.3	11	奈良
和歌山	32.8%	35	1.0	33.6%	35	0.8	35.5%	34	1.9	36.3%	34	0.8	31.8%	32	-4.5	-1.0	17	和歌山
鳥取	31.5%	39	-0.2	32.2%	39	0.7	33.5%	39	1.3	34.3%	37	0.8	32.5%	29	-1.8	1.0	5	鳥取
島根	42.9%	10	-0.5	44.1%	8	1.2	45.4%	6	1.3	46.7%	6	1.3	45.1%	2	-1.6	2.2	2	島根
岡山	28.9%	43	0.2	29.5%	43	0.6	29.3%	45	-0.2	30.5%	43	1.2	28.7%	40	-1.8	-0.2	10	岡山
広島	26.7%	46	1.0	28.3%	44	1.6	30.2%	43	1.9	30.7%	42	0.5	27.3%	43	-3.4	0.6	7	広島
山口	26.0%	47	0.6	26.7%	47	0.7	28.0%	47	1.3	30.3%	44	2.3	29.7%	38	-0.6	3.7	1	山口
徳島	34.8%	30	-0.4	35.1%	34	0.3	36.3%	33	1.2	36.9%	33	0.6	37.0%	17	0.1	2.2	2	徳島
香川	41.6%	13	0.5	42.2%	12	0.6	42.1%	16	-0.1	44.0%	12	1.9	39.4%	11	-4.6	-2.2	22	香川
愛媛	30.3%	41	-0.3	30.6%	41	0.3	33.1%	40	2.5	32.8%	41	-0.3	28.5%	41	-4.3	-1.8	20	愛媛
高知	35.9%	29	1.5	36.5%	29	0.6	38.3%	26	1.8	37.7%	30	-0.6	35.2%	22	-2.5	-0.7	14	高知
福岡	32.3%	38	0.8	33.5%	37	1.2	34.8%	36	1.3	34.2%	38	-0.6	31.4%	33	-2.8	-0.9	16	福岡
佐賀	41.0%	15	2.8	41.3%	16	0.3	43.0%	13	1.7	43.3%	14	0.3	38.8%	13	-4.5	-2.2	22	佐賀
長崎	38.5%	22	-0.1	39.4%	21	0.9	39.5%	23	0.1	39.2%	23	-0.3	32.5%	29	-6.7	-6.0	43	長崎
熊本	34.2%	34	-0.9	35.8%	31	1.6	37.6%	29	1.8	38.0%	28	0.4	33.6%	27	-4.4	-0.6	12	熊本
大分	40.6%	17	-0.6	41.8%	14	1.2	42.4%	15	0.6	40.5%	20	-1.9	35.4%	21	-5.1	-5.2	38	大分
宮崎	34.4%	33	0.1	36.1%	30	1.7	36.7%	31	0.6	38.7%	24	2.0	35.9%	18	-2.8	1.5	4	宮崎
鹿児島	42.9%	10	0.4	41.3%	16	-1.6	44.1%	11	2.8	44.7%	9	0.6	41.1%	8	-3.6	-1.8	20	鹿児島
沖縄	39.4%	18	0.7	39.1%	22	-0.3	39.3%	24	0.2	38.6%	25	-0.7	32.1%	31	-6.5	-7.3	46	沖縄
全国	36.6%		0.3	37.2%		0.6	37.9%		0.7	38.0%		0.1	33.7%		-4.3	1.7		全国

※各年度速報値(市町村国保が支払基金に報告した実績報告から作成)

※国保組合含まない

資料

康保険組合があり、受診率が9割を超えている組合が2組合ある。全組合100%の受診を目指して取り組んでいる。

令和4年度の受診勧奨としては被扶養者の受診率向上を図るべく、電話、手紙、パンフレット、広報等を実施する。

**加藤会長** 特定健診の受診率を上げるには、被扶養者の受診率を上げる必要があるが、何かよい知恵はないか。

**県医務保険課** 徳島県等、受診率の高い地域では、訪問等での地道な呼びかけ、受診券発送前に受診の意思を確認し、受診を希望しない場合はそれに対する働きかけを行っている所もある。

続いて、各市町担当者に特定健診・特定保健指導の令和3年度実施結果及び令和4年度の実施状況について事前聞き取りを行っており、資料として提示。令和4年度に新たな取組みを行っている以下の市町担当者から追加説明をいただいた。

**宇部市** 令和4年度から携帯電話のショートメッセージサービスを利用しての受診勧奨を11月に行う予定である。本年度はテストケースとして約1,000件送信予定で、メールの本文にリンクを貼って、本市の特定健診の内容が分かるページへ接続できるようにする。メリットとしては葉書より安価である。デメリットとしては本年度は葉書での受診勧奨も行うので、メールの効果判定を評価しにくい、メールを開封してくれない可能性がある、携帯番号の入手に手間がかかる等がある。受診率の低い若い世代に響く施策を行わなければならないと考えている。

**山口市** 特定健診の継続受診を促すことを目的として、昨年と今年連続で受診された方のうち、抽選で「道の駅商品引換券」をプレゼントするキャンペーンを行っている。今日現在(9月22日)で約60件の申し込みがある。

**周南市** 新たな取組みとして、特定健診の対象ではない39歳、40歳の方を対象に受診勧奨、特

定健診実施期間の延長を行う。

続いて、山口県医務保険課から「市町国民健康保険の特定健診受診促進広告」に関する説明がなされた。

**県医務保険課** 令和3年度から、市町が受診券を発送する春と受診勧奨強化月間の9月、10月に受診を呼びかける広告を行っている。テレビCM、ラジオCM、レノファ山口の試合会場でのPR、スーパー、市町庁舎、商業施設でのチラシ、ポスター、のぼり等の設置を行っている。令和4年度からは若い世代を狙って、Yahoo!、YouTubeでのWeb広告を追加している。

続いて、県医師会から特定健診等における県医師会請求事務代行についての説明を行った。

**県医師会** 県医師会が行っている特定健診請求事務代行の本年8月受付分までの年度別件数は、令和元年度から令和3年度まで年々減少傾向であったが、本年度は昨年度同時期と比較し約1,300件増加している。

### (3) 令和5年度の実施に向けて(受診率の向上について)

**全国健康保険協会山口支部** 被扶養者の受診率向上に向けて、受診機会を増やす取組みを行っている。また、市町と連携してがん検診との同時受診を勧めている。

**山口県後期高齢者医療広域連合** 口コミや人からの誘い等、人からの直接の声掛けが効果があるのではないかと考えている。

### (4) その他

県医師会より令和5年度の標準単価案を示し、令和4年度の診療報酬改定において、血液採取(静脈)の点数が2点上がったことに伴い、金額を一部変更したこと等の説明を行った。また、県医師会が契約する令和5年度の集合契約Bの特定健診・特定保健指導、後期高齢者の健康診査の概要を示した。